第25回 ネットワークミーティング in 京都

NWM新聞

作成者：第25回 ネットワークミーティング in 京都 実行委員会
発行元：カトリック青年連絡協議会
http://www.catholicyouth.jp/
E-mail : info@catholicyouth.jp

2013年9月21日～22日、京都府城陽市の財団法人青少年野外活動総合センター「友愛の丘」にて、第25回ネットワークミーティング in 京都（以下、NWM25）を行いました。今回は、初参加の人のことを考えたプログラムを作りたいというスタッフの意向から、テーマは「一見さんおこしやす ～すべてのつながりは京都から～」としました。

1日目、北は北海道、南は鹿児島、そして日本を飛び出し韓国から、参加者109人とスタッフ28人の計137人がひとつの場所に集まりました。レクリエーションに始まり、班に分かれてHon ne cafe（分かち合い）をしたり、一緒にお風呂に入ったり、おいしいご飯を囲んだり、各地の活動を分かち合ったりしました。また、夜にはテゼの祈りを通して一日を振り返りながら祈りました。そして、一日のプログラムが終わった後は交流会。スタッフの京都らしい「おもてなし」とともに、交流を深めました。

2日目は、班の垣根を越えて様々な参加者と関わる機会を持つことによって、より多くの人と関われるようなHon ne cafeを行いました。そして、全員でミサに預かり、たくさんの出会いに感謝しながら、この2日間に思いを馳せました。

NWM25では、2日間を通してたくさんの人と出会うきっかけを持ってもらいたいという思いから、プログラムとは別に「名詞交換」という参加者同士でメッセージを書いて交換するという企画を実施しました。このような企画も相まって、「色んな人と関われた」「Hon ne cefeが斬新な発想で楽しく分かち合うことができた」という話を聞き、2日間楽しんでいただけたのではないかと思っています。

（小林 真衣）

ネットワークミーティング（NWM）とは…

カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今かかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

当日の様子　１日目…9/21(土)

14:00　オープニング

14:30　レクリエーション

今回はテーマが『一見さんおこしやす』ということで、レクリエーションの限られた時間の中で、参加者の皆さんがたくさんの人と関わるためにはどうしたら良いのか、一人でいる時間をできるだけ作らないように配慮しました。また、みんなでゲームをしたり、体を動かしたりなど「全員で何かをしたい！」という想いが強くありました。しかし、みんなで体を動かすだけでは一見さんを考えた時に何か物足りないと話が出て、「みんなで協力して何かをする」「みんなの心が１つになる」など、「最初はこれで良いかな？」と安易に考えていた部分もありましたが、しっかりじっくり考えていくうちに、今回のレクリエーションが出来上がりました。（小野 佳織）

「話をすることが苦手な人でも、自分の意見が言えるように」「もうちょっと話がしたいという人を見つけてほしい。その後の時間に、話の続きをしたいって思えるように」― そのために、「Hon ne cafe」では、こんな方法で分かち合いを行いました。

（1）10 名程度の班に分かれ、その中からペアを作る。
（2）お題が書かれたくじを引く。
（3）お題に沿ってどう思うか分かち合い（意見交換）。
（4）班スタッフが１０分経過を伝えた時点で分かち合い終了。
（5）新しくペアを作り、くりかえす。

13:00　受付開始

15:30　Hon ne cafe

「言いたいこと、なんにも言えなかった…。」
「どうしらいいか分からず、つまらなかった…。」
「知らない人ばっかりで、いつ話したらいいか不安だった…。」
そんな分かち合いは避けたい！初めて来てくれた一見さんにも安心してほしい！…いや、来てくれた人みんなが一見さんになって、１から始められる「分かち合い」を！そんなスタッフの願いから１対１の分かち合い「Hon ne cafe」を企画しました。みなさま初めてのご来店で、戸惑われた部分もあったかと思いますが、あちらこちらで和やかにお話をしていただけたように思っています。（石原 茉奈）

こんなテーマで分かち合いをしました。（一部抜粋）

・カトリックだと周りに言ってる？言ってない？
・カトリックの友達とそれ以外の友達、違いはある？ない？
・嫌いな人や苦手な人と、どうやって付き合う？
・今一番感謝したいことは？
・自分の人生で欠かせないものは？
・今まで一番感動したことは？
・あなたにとって一番安心する場所はどこですか？
・好きなことをするって何をすること？
・今までの人生振り返って何点？
・結婚するならカトリック信者の人？

18:00　夕食

美味しいものをお腹一杯食べてもらって、一見さんにも常連さんにも笑顔をお届け!!! ― そんな事を思いながら、皆さんのお弁当を作らさせてもらいました。

会場の炊事場が使えず近くのコミニティーセンターで作ってたんですが、皆さんの声が聞こえないと本当寂しいんです、やっぱり皆さんの声と顔が見えるキッチンが良いな。

あれ作りたい、これ作りたいと班のメンバーで考えながらボツになった案も多数あります。そんなボツ案の晴れ舞台を作ってくださる方お待ちしてます。京都教区はいつも見えないアナタの事を思いながら真心の手料理です。（坂西　禎視）

19:00　インフォメーション

21:15　テゼ

典礼班はテゼの祈りをしたいと思い、どういうシチュエーションでやるか何度か会議しました。当初はキャンプファイヤーをやり、その場でテゼの祈りをするつもりでしたが、規模や蚊、暗さなどの理由からなくなってしまいました。うめの里でテゼの祈りをすることになりましたが、ゆったり祈る時間ができたとの声を頂き、場所が変わっても理想的な形でテゼの祈りをすることができました。（筒井　亜矢）

22:00　交流会

交流会班はできるだけ多くの人とかかわってもらいたいなーって考えて、内容を詰めていきました。多くの人と関わってもらいたい。でも京都らしさも感じて欲しい。場所は狭かったかもしれないけど、それもまぁ、袖振り合う仲になれるようにってことでね。スタッフからは浴衣にて少しでも京都らしさを感じてもらえたのではないでしょうか。

あと、９月生まれの人のお祝いもしました。食べ方は「センター食い」。いつも京都カトリック青年センターでケーキとかを食べる時に使う方法です。ここでもう一度おさらいしときますね。それぞれがフォークやスプーンを持ってケーキを一斉に食べる方法です。是非教区や教会で試してください。（田川　愛笑子）

交流会班では交流会の運営に加え、NWM 全体を通して参加者全員がより多くのひとと交流できるようプログラムを考えました。そのひとつが名詞交換です。簡単な自己紹介を片面にかいて、交換する相手へのメッセージ等を記入して交換するというもの。使い方は自由！話のきっかけに使うもよし、思い出として交流したことを形に残すもよし、今後の繋がりのために使うもよし。ミーティングの段階では、スタッフ側から積極的にプログラムへの参加を促して、参加者各々に自由に活用、交流してもらおうという話で落ち着いていました。しかしNWM 当日、予想以上の交換率に驚きました。参加者のみなさまは声をかけなくとも、自ら、各々自由に名詞交換を行っていました。途中で色紙がなくなって追加した参加者も多々。プログラムいらなかったかな？と思うほどの積極さに驚き。そんな中「名詞交換よかったよ」という声もいただき、みなさんの交流の手助けをできたかなと思っています。今回の繋がりを今後も大切にしていきたいものです。本当にありがとうございました。（山本　優理）

当日の様子　２日目…9/22(日)

8:45　朝の体操

7:30　朝食～朝の祈り

10:30　歌の練習～ミサ

ミサでは早い段階から大塚司教様と打ち合わせをする等準備を進めてきました。聖歌伴奏ではスタッフの提案もあり、ギターの他にリコーダー等いろんな楽器も加わり楽しく演奏できました。閉祭の「こころをつないで」の時なんか本当に良かった！参加者の皆さんが心地良くお祈りできたのなら幸いです！（栗山 透）

9:00　Hon ne cafe

２日目の Hon ne cafe は、参加者に選んでもらう形をとりました。「ホンネの里」はじっくりゆっくり話したい人向け、「ホンネローテーション」はどんどん新しい人と関わりたい人向け、それぞれのいいところを楽しんでもらえるように２つの場所を用意しました。充実した Hon ne cafe をしてもらえていたら幸いです。（小林 まなつ）

今回の NWM のテーマは「一見さんおこしやす」。NWM の中で一見さんにとって一番困る時間はどんな時間だろうと考えた結果、プログラムとプログラムの間に発生する、何をすればいいかわからない「隙間」の時間ではないかということに達しました。そこで生まれたのが「スキマ班」です。

まずは、隙間の時間をどのように使おうか、というところから考えました。一見さんもそうじゃない人もできること、しかも短い時間でいつでもできること…といえば歌練習！そして、隙間班の本領を発揮（？）できたと感じたのが、プログラム開始で集まったはいいけど、まだ始まらない…という、まさにほんの隙間時間。おしゃべりしようかどうしようか…みたいな微妙な時間は、レクリエーションを少しだけ行いました。

隙間の時間を活用して、いつも話す相手以外と交流したり、同じことを共有したり、みなさんが楽しそうにレクリエーションをされていたりするところを見て、スキマ班をやらせていただいて良かったと感じました。スキマの活用は、ぜひ私たちスキマ班にお任せあれ（笑）（奥埜 のぞみ）

12:00　グランドフィナーレ

参加者の声

- 久しぶりの参加で懐かしい人と会ったり、新しい人との出会いがあったのが楽しかったです。Hon ne cafe では哲学系の質問が多く、普段話す機会がないものばかりだったので、考える機会になってよかったです。
- Hon ne cafe では、初対面の人とも普段人には話せないような話をすることができました。前回の NWM in 京都に参加して、今回また参加したことによって、京都の新しい一面を見ることができて、とても楽しかったです。

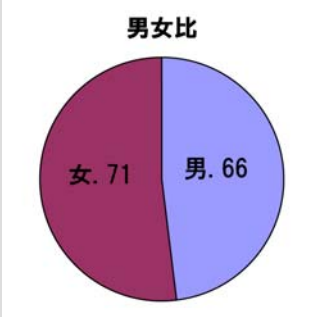
- Hon ne cafe の 10 分間はあっという間でした。お題が難しかったけど、すごく楽しかった。来てよかったです。

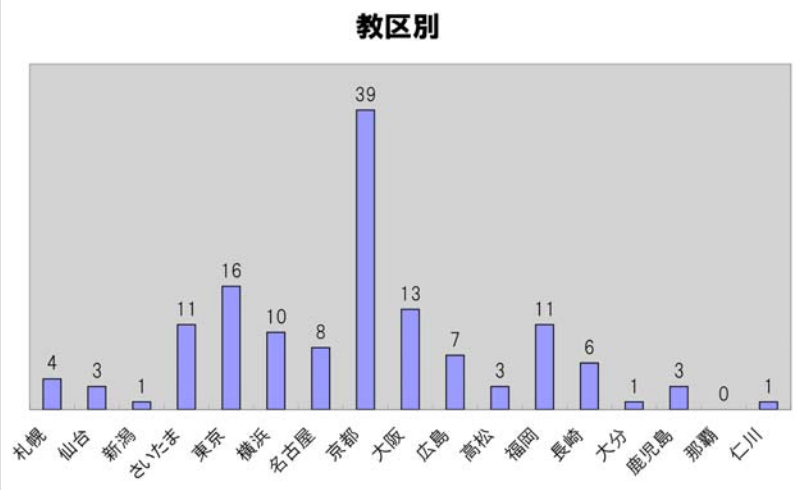
- 私は、今回初めてネットワークミーティングに参加しました。初めて自分の教区以外での交流だったので、とても緊張していました。実際に少し人見知りをしていたのですが、分かち合いで同じグループになった人達や夕飯のとき同じテーブルで一緒にご飯食べた人達など、とても話しやすかったですし、すぐに馴染むことができました。普段関わることのできない、遠い地域の人など、たくさんの人達と知り合えてとても良かったと思っています。分かち合いはもちろん、インフォメーションなどで、普段知らない教区の人達の活動などが知れて、とても面白かったです。このような活動はとても貴重なので、良い経験をさせてもらいましたし、これからも続いていけばいいと思います。来年の秋はさいたま教区の主催になるので、私もスタッフとして色々な交流の役に立てたらと思います。
- 京都の夏は予想以上に暑かった。いろんな意味で！Hon ne cafe は、一人一人の人とじっくり話す機会がなかなかないので、とてもいい機会になったと思う。

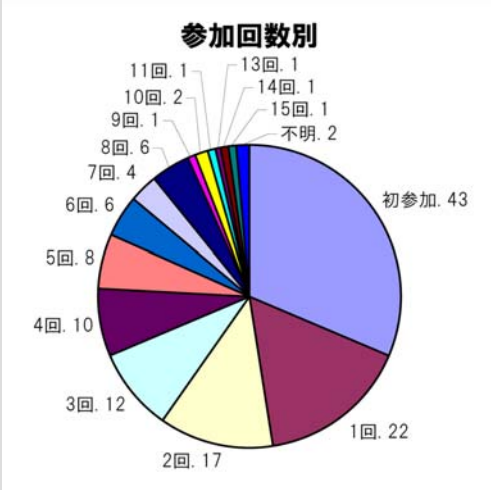
- さすがは観光名所目白押しの京都教区！美しい女将さんや初々しい若旦那、腕によりをかけたシェフの料理、浴衣姿のスタッフたちによる最高のお・も・て・な・しに酔いしれた２日間でした。印象深かったのは Hon ne Cafe！教区も世代も超えて、信仰について、教会活動について、将来について…初対面の人とも濃く熱く深く分かち合えたのは、本当に貴重な体験でした。たくさんのパワーをもらったので、自分の教区でも頑張ろうと決意を新たにしました。全国の皆さん、東京にもおこしやす♪

参加者データ

NWM25 の参加者は、全国 15 教区と海外からの参加があり、計 137 名となりました。
教区別では地元の京都教区が最も多く、東京・大阪・さいたま・福岡…と続きます。
男女比では、女性が若干多くなりました、参加回数別では、「一見さんおこしやす」というテーマも影響したのか初参加が最も多くなりましたが、リピーターも多数存在します。
なお、年齢別では 20 歳前半までの参加者が半数以上を占めましたが、40 歳以上まで幅広く参加がありました。







代表じんこ NWM25を語る…

NWM に向けての準備は、2012 年の 12 月にスタートしました。その中で最も大変だったのは、この NWM のテーマの決定と NWM の中心となる分かち合いの内容でした。

テーマについての話し合いでは、スタッフの皆の NWM に対する思いがよくわかりました。より多くの青年に参加してもらいたいという思いから、初参加になる青年にとっては、やはり敷居が高く感じられるのではないかという意見があり、特に初めて参加して下さる参加者の方々が参加しやすくなるようなテーマということに的をしぼりました。同時に、NWM の常連参加者の皆さんにも、全員同じスタートラインに立って参加してもらいたいと考え、みんなで試行錯誤した結果、「一見さんおこしやす」というテーマが誕生したのでした。

また、NWM の中心となる分かち合いも試行錯誤が必要でした。テーマを決める時にも念頭にあったことですが、初めて参加する人の心にも残るような分かち合い、また参加者全員が、より多くの青年と交わり、分かち合うことができる時間を作りたいという思いから、今までにない 1 対 1 での分かち合い「Hon ne cafe」を取り入れました。大人数での実施は難しいんじゃないかという不安もあったのですが、分かち合い班のスタッフを中心としたみんなで意見を出し合い、参加者のみなさんの心に残るものができたと思います。

もちろん試行錯誤を繰り返し、やいのやいのとスタッフで意見を言い合ったのは、上に述べた二つの事柄だけではなく、この NWM 全体に関して言えることですが、京都教区のスタッフ一人一人の力や個性を活かして作り上げていくことができたと思います。スタッフ全員に、本当に感謝しています。

NWM25 は、参加して下さった皆さんやスタッフのおかげで、無事に終えることができました！参加者の方からは、「楽しかった」「来てよかった」等々、嬉しい感想をたくさんいただき、今回の NWM を良いものにできたんじゃないかなと思います。私は、「今回の NWM を通して作ることができた絆や輪を途切らせることなくつなげていってもらいたい。」とグランドフィナーレの時に話しました。これからも NWM という行事が、今までに深めた絆はもちろん、この先の新たな出会いを通して、大切な仲間を増やしていく機会になればいいなと思います。

（代表・橋本 仁子）

スタッフの声

レクをみんなとして、とりあえず楽しかったよっと言ってもらえるのが嬉しかったです。今回のテーマは「一見さんおこしやす」ということだったので、レク班はできるだけ、参加者の人が 1 人になってしまわないよう全員でできるようみんなで考えていました。実際、グループの中に入れなかったりすることもなく、場所は狭かったですが、たくさんの人たちと一言でも話すきっかけを作れたのではないかなと思っています。

２日目の体操も、単純な動作でしたが、全員で体を動かし触れ合うことができたのではないかと思います。また、ウェーブをする時には周りにいる青年たちとタイミングを合わさないとやりにくいと思うので、それでまた協力して、みんなでしたという達成感もあり、たくさんの楽しかった！という声を聞けて良かったと思っています。

（レクリエーション班・小野 佳織）

至らぬ点もたくさんありましたが典礼でリーダーさせて頂きました。メンバーの方々が支えてくれたおかげで無事成し遂げられました！ゆったり、時には楽しく歌を歌ってお祈りできる場を作れてよかったなと思います！

（典礼班・筒井 亜矢）

NWM、ただただ楽しかった！とにかく楽しかった！ひたすら楽しかった！NWM 中は人一倍楽しむことに力を注いでいたぽちです。

交流会班としては八つ橋作り、あれがんばりました、分量も覚えるほどに。美味しかったですか？＼(^o^)／

また交流会だけでなく NWM 全体を通してみなさんがより多くのひとたちと交流できるようにたくさんのプログラムを考えていたのですが、いつの間にやら消えてしまったプログラムも。NWM 中にミッションカードがまわってくるとか、あれ、どこいった？やりたかった。（笑）それはまた次の機会に！

（交流会班・山本 優理）